

## 様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	福山平成大学
設置者名	学校法人 福山大学

### 1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配 置 困 難	
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計			
経営学部	経営学科	夜・通信		76	112	13	-		
福祉健康学部	福祉学科	夜・通信	36	119	155	13	-		
	こども学科	夜・通信		84	120	13	-		
	健康スポーツ学科	夜・通信		58	94	13	-		
	看護学科	夜・通信		19	98	117	13	-	
(備考)									

### 2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

(公表方法：<https://www.heisei-u.ac.jp/disclosure/j-koukai/>)

### 3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由) 該当なし。

## 様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	福山平成大学
設置者名	学校法人 福山大学

### 1. 理事（役員）名簿の公表方法

福山平成大学ホームページ（学校法人福山大学の情報公開：[https://www.fukuyama-u.com/Information\\_disclosure/](https://www.fukuyama-u.com/Information_disclosure/)）

### 2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	商工会議所 名誉会頭	2018.5.27 ～ 2020.5.26	経営・財務・産学連携
非常勤	(公財)振興財団理事長	2018.5.27 ～ 2020.5.26	経営・財務・教育連携
非常勤	法律事務所 弁護士	2018.5.27 ～ 2020.5.26	コンプライアンス
非常勤	(一財)教育協会 代表理事	2018.5.27 ～ 2020.5.26	教育連携・国際連携
非常勤	現 無職 元 広島大学学長	2018.5.27 ～ 2020.5.26	教育・研究
非常勤	運輸会社 社長	2019.7.20 ～ 2020.5.26	経営・財務・産学連携
(備考)			

## 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	福山平成大学
設置者名	学校法人 福山大学

### ○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。

(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)

授業計画(シラバス)には、「授業のねらい・概要」、「授業(学修)の到達目標・カリキュラム上の位置づけ」、「準備学修の具体的な指示」、「回数ごとの授業内容」、「回数ごとの準備学修等の具体的な指示」、「準備学修に要する時間の目安」、「定期試験」、「成績評価の方法・基準・課題・フィードバック」、「オフィス・アワー」、「授業に関するキーワード」、「学位授与の方針」、「実務経験を活かした授業科目(有・無)※有とした場合は「授業の概要」に追記指示」、「授業の形式」、「使用教科書」、「参考書」、「履修上の注意」の作成項目を設けている。また、具体的な作成要領「シラバスの作成にあたり」を示し、授業担当教員に周知している。

シラバスの作成スケジュールは、1月上旬に各教員入稿依頼し、2月中旬までに完了し、内容が学部・学科の方針(CP・DP)に合致したものになっているか学部長・学科長及び各学科教務委員の複数でのチェック体制を整えている。

シラバスの公表の時期は、新年度の4月1日である。なお、公表の方法は、冊子を作成して学生への配付および本学ホームページでも行うこととしている。

授業計画書の公表方法	シラバス(冊子), 大学ホームページ: <a href="https://www.heisei-u.ac.jp/disclosure/j-koukai/">https://www.heisei-u.ac.jp/disclosure/j-koukai/</a>
------------	---

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

学生便覧「授業科目履修細則」に記載して学内外に周知している。

第7条 各授業科目の成績の評価は、試験の成績及び出席状況等を総合して行うものとする。

2 成績は、100点満点とし、成績評価は次の基準により授業担当教員が行うものとする。

秀；100点～90点、優；89点～80点、良；79点～70点、可；69点～60点、不可；59点～0点。

3 2人以上の教員により担当する授業科目については、当該授業科目を分担する教員の協議により成績の評価を行うものとする。

第8条 前条第2項の規定に基づく成績評価においては、秀、優、良、及び可を合格とし、当該評価を得た者については学部教授会の議を経て所定の単位を与えるものとする。

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

学生便覧「授業科目履修細則」に記載して学内外に周知している。

第8条 前条第2項の規定に基づく成績評価においては、秀、優、良、及び可を合格とし、当該評価を得た者については学部教授会の議を経て所定の単位を与えるものとする。

2 学業成績を総合的に判断する指標としてG P A (Grade Point Average) を用いる。

3 G P Aは、前条第1項の成績評価を基にグレードポイントを定め、それに各授業科目の単位数を乗じ、その合計を履修登録の総単位数で除して前期末及び後期末に算出する。

4 G P Aの算出基準等は次のとおりとする。

成績評価	Grade Point
秀	4
優	3
良	2
可	1
不可	0
放棄	0

5 G P Aの計算については、卒業に必要な単位として加算されない科目及び学則第17条の3により単位を認定された科目は含まない。

6 第3項に定めるGPAが2期連続して別に定める値を下まわる学生には、クラス担任が修学指導を行う。

7 第3項に定めるG P Aが3期連続して別に定める値を下まわる学生には、保証人同伴のうえ、学部長又は学科長が厳重注意を行う。

8 第3項に定めるG P Aが4期連続して別に定める値を下まわる学生には、学長は学部長又は学科長と協議のうえ、成業の可能性があると判断される場合を除き、退学を勧告する。

#### 【G P Aの計算式】

$$4 \text{ 点} \times (\text{「秀」の修得単位数}) + 3 \text{ 点} \times (\text{「優」の修得単位数}) + 2 \text{ 点} \times (\text{「良」の修得単位数}) + 1 \text{ 点} \times (\text{「可」の修得単位数})$$

$$\text{GPA(小数点第3位を四捨五入)} = \frac{\text{4 点} \times (\text{「秀」の修得単位数}) + 3 \text{ 点} \times (\text{「優」の修得単位数}) + 2 \text{ 点} \times (\text{「良」の修得単位数}) + 1 \text{ 点} \times (\text{「可」の修得単位数})}{\text{総履修登録単位数}}$$

客観的な指標の  
算出方法の公表方法

学生便覧(冊子)で全学生に配付及び図書館で閲覧できる。  
大学ホームページ(情報公開：<https://www.heisei-u.ac.jp/info/j-koukai/disclosure2019.pdf>)で公表している。

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

学生便覧「卒業要件（卒業に必要な単位取得数）」に掲載済み。

**【経営学部】**

卒業要件は、4年以上在学し、一般教育科目及び専門教育科目においてそれぞれ次のように単位を取得し、その合計が124単位以上になるように修得しなければならない。

**[内訳]**

1) 一般教育科目

- ・初年次教育科目1科目2単位必修。
- ・教養基礎科目18単位以上選択必修、但し、体育科目については2教科以上履修することはできません。
- ・情報処理科目2科目2単位必修。
- ・外国語科目必修（英語A・英語B・英会話A・英会話B）4科目4単位、選択必修（第2外国語（同一言語））2科目2単位、小計6科目6単位、合計28単位。

2) 専門教育科目

- 1) のほか専門教育科目 必修科目を含めて、96単位以上。

**【福祉健康学部】**

卒業要件は、4年以上在学し、一般教育科目及び専門教育科目においてそれぞれ次のように単位を取得し、その合計が124単位以上になることです。

**[内訳]**

1) 一般教育科目

- ・初年次教育科目1科目2単位必修。
- ・教養基礎科目18単位以上選択必修、但し体育科目については2教科以上履修することはできません。
- ・情報処理科目2科目2単位必修。
- ・外国語科目必修（英語A・英語B・英会話A・英会話B）4科目4単位、選択必修（第2外国語（同一言語））2科目2単位、小計6科目6単位、合計28単位。

2) 専門教育科目

〈福祉学科〉

イ) 1) のほか、選択必修「人間と社会の理解」領域2単位、「心と体の仕組み」領域2単位、「分野部門」領域8単位、計6科目12単位、演習科目3科目10単位、合計9科目22単位必修。

ロ) イ) のほか、選択科目から74単位以上。

〈こども学科〉

イ) 1) のほか、「こども学基盤科目」10科目20単位、「保育・教育の理論に関する科目」2科目4単位、「保育・教育の内容・方法・技術に関する科目」9科目18単位、合計21科目42単位必修。

ロ) イ) のほか、選択科目58単位以上。

〈健康スポーツ科学科〉

イ) 1) のほか、必修科目8科目20単位必修。

ロ) イ) のほか、選択科目から76単位以上。

**【看護学部】**

卒業要件は、4年以上在学し、一般教育科目及び専門教育科目においてそれぞれ次のように単位を取得し、その合計が134単位以上になるように修得しなければなりません。

[内訳]

1) 一般教育科目

- ・初年次教育科目 1 科目 2 単位必修。
- ・教養基礎科目 1 5 単位以上選択必修。ボランティア活動論 1 科目 1 単位選択必修。  
2 5 科目 5 0 単位の中から 1 4 単位選択。
- ・情報処理科目必修, (情報処理論 1 科目 2 単位)
- ・外国語科目必修 (英語A・英語B・英会話A・英会話B) 4 科目 4 単位,  
選択必修 (フランス語A・フランス語B) (中国語A・中国語B)  
(ドイツ語A・ドイツ語B) 1 科目 2 単位  
小計 6 科目 6 単位, 合計 2 5 単位。

2) 専門教育科目

専門基礎科目 1 8 科目 3 2 単位, 専門科目 4 9 科目 7 7 単位, 合計 6 7 科目 1 0 9 単位必修。

卒業の認定に関する 方針の公表方法	学生便覧(冊子)で全学生に配付及び図書館で閲覧できる。 大学ホームページ(情報公開 : <a href="https://www.heisei-u.ac.jp/info/j-koukai/disclosure2019.pdf">https://www.heisei-u.ac.jp/info/j-koukai/disclosure2019.pdf</a> )で公表している。
----------------------	--

## 様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	福山平成大学
設置者名	学校法人 福山大学

### 1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://www.heisei-u.ac.jp/disclosure/j-koukai/">https://www.heisei-u.ac.jp/disclosure/j-koukai/</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="https://www.heisei-u.ac.jp/disclosure/j-koukai/">https://www.heisei-u.ac.jp/disclosure/j-koukai/</a>
財産目録	<a href="https://www.heisei-u.ac.jp/disclosure/j-koukai/">https://www.heisei-u.ac.jp/disclosure/j-koukai/</a>
事業報告書	<a href="https://www.heisei-u.ac.jp/disclosure/j-koukai/">https://www.heisei-u.ac.jp/disclosure/j-koukai/</a>
監事による監査報告（書）	<a href="https://www.heisei-u.ac.jp/disclosure/j-koukai/">https://www.heisei-u.ac.jp/disclosure/j-koukai/</a>

### 2. 事業計画（任意記載事項）

単年度計画（名称：学校法人福山大学事業計画	対象年度：平成31年度）
公表方法： <a href="http://www.fukuyama-u.ac.jp/info/disclosure/">http://www.fukuyama-u.ac.jp/info/disclosure/</a>	
中長期計画（名称：	対象年度：）
公表方法：	

### 3. 教育活動に係る情報

#### （1）自己点検・評価の結果

公表方法：（大学ホームページ：<https://www.heisei-u.ac.jp/disclosure/j-koukai/>）

#### （2）認証評価の結果（任意記載事項）

公表方法：  
(大学ホームページ：<https://www.heisei-u.ac.jp/disclosure/jihee/>)

### (3) 学校教育法施行規則第172条の2第1項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 経営学部
教育研究上の目的（公表方法： <a href="https://www.heisei-u.ac.jp/info/j-koukai/disclosure2019.pdf">https://www.heisei-u.ac.jp/info/j-koukai/disclosure2019.pdf</a> ）
(概要) 経営学部・経営学科は、“建学の精神”及び学則に定めるところに基づき、社会性を身につけた豊かで調和のある人間性を養い、経営学諸分野の高度な専門的知識と技術を習得し、産業経済界で活躍できる実践的な人材を育成するとともに、これに関連する教育研究を行うことを目的とする。 経営学科では“建学の精神”である全人格陶冶とともに、必要な経営学関係の専門知識だけではなく、経営における的確な状況判断能力や意思決定能力を身につけ、地域社会の発展に貢献できる即戦力としての“ビジネスパーソン”及び“産業人”を育成することを目標に、実学重視の教育を行っている。
卒業の認定に関する方針（公表方法： <a href="https://www.heisei-u.ac.jp/faculty/ba/policy/">https://www.heisei-u.ac.jp/faculty/ba/policy/</a> 、大学要覧：大学ホームページまたは電話で資料請求が行える）
(概要) 経営学科では、以下の素養を身につけ、所定の単位数を修得した者に卒業を認定し、学士（経営学）の学位を授与します。 1. 豊かな人間性を支える多様な教養教育科目と専門教育科目を修得している。 2. ビジネスパーソンや産業人として働くうえで必要な経営関係分野の専門知識を身につけている。 3. 現代社会はICT（情報通信技術）がきわめて大きな影響を及ぼすようになっていることを理解し、企業経営や地域活動に役立つ実践的な経営情報関係知識と技術を修得している。 4. 現代経済はグローバル化が進展し、変化が激しく、不確実性が増している。そうした環境変化に対応し、問題を発見し解決する能力や、他者と協力して課題解決に取り組む協調性やコミュニケーション能力を身につけている。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： <a href="https://www.heisei-u.ac.jp/faculty/ba/policy/">https://www.heisei-u.ac.jp/faculty/ba/policy/</a> 、大学要覧：大学ホームページまたは電話で資料請求が行える）
(概要) 経営学科では、豊かな人間性にあふれ、考え方の異なる人たちとも協調して、時代の要請する企業経営上の、あるいは地域が直面している課題の解決に取り組み、地域の発展に貢献できるビジネスパーソンや産業人等の人材を育成することを目的とする科目を配置します。 教育課程の編成 経営学科ディプロマ・ポリシーを踏まえ、以下の教育課程を編成します。 1. 社会人として必要な豊かな人間性と社会性を育むため、1年次では多様な教養教育科目を学びます。さらに、2年次、3年次の専門教育科目にも上記関係科目を組み込み、継続した教育から実践力を身につけます。 2. ビジネスパーソンや産業人として活躍するために必要な専門教育科目は多岐にわたります。こうした専門教育科目を、科目間および基礎的科目と応用科目の関連性から専門領域別に整理して、自らの興味と関心に応じて学修を深めます。 3. 現代のビジネスパーソンや産業人は、問題を発見し解決する能力やプレゼンテーションおよびコミュニケーション能力が求められるようになっています。そこで、そのた

<p>めに役立つ実習科目や演習科目、フィールドワーク、卒業論文等もカリキュラムの重要な柱と位置づけて学修します。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：<a href="https://www.heisei-u.ac.jp/faculty/ba/policy/">https://www.heisei-u.ac.jp/faculty/ba/policy/</a>、大学要覧：大学ホームページまたは電話で資料請求が行える）</p>
<p>（概要）</p> <p>経営学科では、豊かな人間性にあふれ、考えの異なる人たちとも協調して、時代の要請する企業経営上の、あるいは地域が直面している課題の解決に取り組み、地域の発展に貢献できるビジネスパーソンや産業人等の人材を育成します。</p> <p>そのために、次のような意欲と熱意をもった人を積極的に受け入れます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高等学校における学習内容を理解し、また、スポーツ・文化などの部活動や生徒会活動、地域のボランティア、あるいは資格の取得などに主体的、積極的に取り組み、大学入学後も目的を持って主体的に学生生活を送ろうという意欲を持っている人</li> <li>2. 現代の企業の経営や地域の現状について関心があり、そういう問題をより深く理解するために、自ら進んで勉強し、継続した努力のできる人</li> <li>3. 将来、ビジネスパーソンや産業人、あるいは地域で活躍しようとして、経営関係分野の専門知識や技術の習得をめざしている人</li> </ol>

## ②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<https://www.heisei-u.ac.jp/info/j-koukai/disclosure2019.pdf>

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受け入れに関する方針の概要

学部等名 福祉健康学部

教育研究上の目的（公表方法：<https://www.heisei-u.ac.jp/info/j-koukai/disclosure2019.pdf>）

（概要）

【福祉学科】

福祉学科は、“建学の精神”及び学則の定めるところに基づき、福祉に関する専門知識と技術を習得し、すべての人々の幸福に貢献できる人材を育成するとともに、これに関する教育研究を行うことを目的としている。このため教育課程は、社会福祉コースと介護福祉コースの二コースで展開され、社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士、そして保育士資格等を取得させることを目標とする。また、両コースに配当された科目や教育環境を相互に活用したり、両コース間の学生交流を通して、社会福祉領域に関する多様で総合的な学びを可能にする工夫が行われている。このような教育課程を通して、子どもから高齢者、障害者等すべての人々の健やかな生活を目指す人間福利（“ウェルビーイング（well-being）”）の理念に則り、豊かな人間性と総合的実践力を備えた人材を輩出し、地域貢献を行っている。このような人材育成に役立つ学生支援システムとして、大学と地域の社会福祉関係者等が連携して、実習教育やボランティア活動を行う体制を整えている。福祉の専門家として、福祉に関する“制度”とそこに“生きる人間”という複眼的で温かい視野を持つ人材養成にも積極的に取り組んでいる。

【こども学科】

こども学科は、“建学の精神”及び学則の定めるところに基づき、乳児から児童までの子どもに対して一貫して支援・教育を行える保育士、幼稚園教諭、小学校教諭を養成することを目的としている。教育課程は、保育士資格及び幼稚園教諭一種免許状・小学校教諭一種免許状を取得できるように構成されている。理論と実践の両面から学びを深めるため、1年次から体験学習を行い、2年次の保育実習、3年次の幼稚園教育実習及び小学校教育実習、4年次における二度目の保育実習から総仕上げとしての教育実践演習へと段階的な学びを設定している。無理なく実践力を高めるとともに、4年間を通して大学で学ぶ理論・技術が実践の場でどのように活かされるのかを体得できるよう工夫されている。また、子どもの感性と創造力を育む国語教育や体育、音楽、図画工作などの表現教育にも力点を置いており、特にピアノ教育においては、入学前から始まり、4年間を通してピアノ教育を行っている。

【健康スポーツ科学科】

健康スポーツ科学科は、“建学の精神”及び学則の定めるところに基づき、身体活動を介した健康やスポーツを体系的に深く理解するとともに、健康、スポーツ、教育に関する専門知識と技術を習得し、すべての人々の健康増進及びスポーツ振興の担い手として寄与しうる豊かな人間性と総合的実践力を備えた人材を育成することを目的としている。

このため、教育課程は、スポーツに関する医科学系、健康科学系、心理学系、社会学系、教育学系、コーチング系などの分野の知識を系統的に広く学習する。また、学んだ知識の定着及び実践による確認の意味を含め、スポーツ実技や演習の教科を数多く開講し充実させている。開設当初は、中・高齢者を対象に健康の維持・増進を目的とする学科として出発したが、平成17（2005）年には中学校・高等学校教諭（保健体育）の教員免許が、また平成19（2007）年には養護教諭の教員免許が取得できるようになり、これに伴って、従来の教育カリキュラムに加え、教育実践指導力の拡充のための実技や実習、さらには演習形式による授業の強化が図られた。平成21（2009）年には、学科に所属する教員で構成される大学院スポーツ健康科学研究科が設置されることとなり、学科の教育課程を引き継ぎ、継続して高度な職業人を育成することが可能となっている。

卒業の認定に関する方針（公表方法：【福祉】<https://www.heisei-u.ac.jp/faculty/wfs/policy/>、

【こども】<https://www.heisei-u.ac.jp/faculty/child/policy/>、【健康スポーツ科】

<https://www.heisei-u.ac.jp/faculty/kss/policy/>、大学要覧：大学ホームページまたは電話で資料請求が行える）

(概要)

**【福祉学科】**

福祉学科では、以下の素養を身につけ、所定の単位数を修得した者に卒業を認定し、学士（福祉学）の学位を授与します。

1. 現代社会の諸問題と社会福祉の基本的な構造や機能、また人間の行動と社会システムに関する知見について理解できる。（知識・理解）
2. 福祉現場で生じているさまざまな課題について論じ、適切な対応を考えることができる。（思考・判断）
3. 人権と社会正義の原理に基づく社会福祉の援助観を理解し、福祉サービス利用者の置かれている状況に共感できる。（価値）
4. 社会福祉の援助方法を理解し、現代社会に直面する社会問題を解決する援助者（ソーシャルワーカー、ケアワーカー）としての専門的技能を身につけることができる。（技能）
5. 実践を省察し、自己の学習課題を明確にし、理論と実践を結びつけた学習ができる。（態度）

**【こども学科】**

こども学科では、保育者・教育者としての以下の資質・能力を備え、所定の単位数を修得した者に卒業を認定し、学士（こども学）の学位を授与します。

1. 多様な他者と協働し、子どもと共に自ら学び育とうとする素養と知識を身につけていく。
2. 子どもの発達と学習を促進する支援と指導のための内容・方法・技術を身につけていく。
3. 子どもを取り巻く諸課題の解決に向け、より良い地域・社会の創出に取り組もうとする態度と構えを身につけていく。

**【健康スポーツ科学科】**

健康スポーツ科学科では、以下の素養を身につけ、所定の単位数を修得した者に卒業を認定し、学士（健康スポーツ科学）の学位を授与します。

1. 幅広い基礎的・専門的な知識を身につけ、それを理解している。
2. 健康スポーツ領域における知識を活用し、分析・考察できる力を身につけている。
3. 社会のなかで、健康で文化的な生活に貢献できる幅広い人間性を身につけている。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：【福祉】 <https://www.heisei-u.ac.jp/faculty/wfs/policy/>、【こども】 <https://www.heisei-u.ac.jp/faculty/child/policy/>、【健康スポーツ科】 <https://www.heisei-u.ac.jp/faculty/kss/policy/>、大学要覧：大学ホームページまたは電話で資料請求が行える）

(概要)

**【福祉学科】**

福祉学科では、社会福祉の根底にある理念や哲学（価値、態度）、社会福祉の政策・制度論（知識）、および援助方法（技能）に関する科目と、人間力（知力、実践力、気力、体力、コミュニケーション力）を高め、社会で活躍しうる職業人を育成することを目的とする科目を配置します。

また、実習・演習科目を重視し、1年次生から4年次生まで系統的に実習できるように科目を配置し、児童・障害者・高齢者、精神保健福祉の諸施設、公的機関、民間福祉団体等で実習することにより、必要な知識、態度、技能を身につけます。

教育課程の編成

福祉学科ディプロマ・ポリシーを踏まえ、以下の教育課程を編成します。

1. 社会福祉コースでは、社会福祉士国家試験受験資格を取得するための指定科目が配置されたカリキュラムとします。介護福祉コースでは、介護福祉士国家試験受験資格を取得するための指定科目が配置されたカリキュラムとします。
2. 少人数教育を重視し、1年次から4年次までの「基礎演習」「専門演習Ⅰ」「専門演習Ⅱ」と一貫したカリキュラムを編成し、基礎から研究までの連続性を重視します。
3. 福祉関係国家試験受験資格（社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士）を取得しま

す。

4. 健康・医療・福祉に関する外部業界団体認定諸資格取得を支援します。
5. 学生が在学中に自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を行うインターンシップを実施します。

#### 【こども学科】

こども学科では、ディプロマ・ポリシーで設定されている資質・能力を備えた保育者・教育者を育成することを目的として、以下の4領域にわたって科目を配置します。

- A. こども学基盤科目（基盤科目）
- B. 保育・教育の理論に関する科目（理論科目）
- C. 保育・教育の内容・方法・技術に関する科目（内容・方法・技術科目）
- D. 保育・教育の実践に関する科目（実践科目）

各自の志望するキャリアに応じて所定の科目を履修し単位を修得することによって、保育士資格、幼稚園教諭一種免許状、小学校教諭一種免許状を取得することができます。

#### 教育課程の編成

こども学科ディプロマ・ポリシーを踏まえ、以下の教育課程を編成します。

1. キャリアを模索する（1年次）  
将来のキャリアを模索することができるように、一般教育科目および基盤科目を中心に編成し、地域・社会における保育・教育現場を体験する機会を提供します。
2. キャリアを選択する（2年次）  
興味・関心・将来構想に基づいてキャリアを選択し、実践のための知識と技能を獲得することができるように、理論科目および内容・方法・技術科目を中心に編成し、保育・教育現場の体験を積み重ねる機会を提供します。
3. キャリアを実感する（3年次）  
志望するキャリアを実感し、将来構想を具体化することができるように、内容・方法・技術科目および実践科目を中心に編成し、保育実習・教育実習の機会を提供します。
4. キャリアを実現する（4年次）  
キャリアを実現することができるように、4年間の学修を振り返り、保育者・教育者として最小限必要とされる資質・能力を身につけることができたかどうかを確認するための科目を中心に編成し、さらなる学修に励む機会を提供します。

#### 【健康スポーツ科学科】

健康スポーツ科学科では、「健康」、「スポーツ」、「教職」という3つの基幹科目の系統性を持ち、課題解決能力を持ったインテグリティの高い人材を育成することを目的とする科目を配置します。

#### 教育課程の編成

健康スポーツ科学科ディプロマ・ポリシーを踏まえ、以下の教育課程を編成します。

1. (1年次) 実践からのスポーツ再発見（ギャップの確認）
2. (2年次) 実践と理論のスパイラル省察（問題や課題を自覚しながら工夫・努力する演習群の配置）
3. (3年次) 問題・課題解決への専門的アプローチ（ゼミ色を活かした課題解決への取り組み）
4. (4年次) 問題・課題解決に向けた取り組み（卒業論文作成過程を軸にした解決策の提案）

入学者の受入れに関する方針（公表方法：【福祉】<https://www.heisei-u.ac.jp/faculty/wfs/policy/>、  
【こども】<https://www.heisei-u.ac.jp/faculty/child/policy/>、【健康スポーツ科】<https://www.heisei-u.ac.jp/faculty/kss/policy/>、大学要覧：大学ホームページまたは電話で資料請求が行える）

(概要)

**【福祉学科】**

福祉学科では、「共感と共生」を基本にした福祉（ウェルビーイング）の理念を柱に、共感の心・自立の支援・共生を可能にする福祉のプロフェッショナルの養成をめざします。福祉施設の実習をとおして専門知識と実務能力を備えた人材を育成します。

そのために、次のような意欲と熱意をもった人を積極的に受け入れます。

1. 社会福祉及び関連分野に关心をもち、将来それらの分野において活躍するために専門知識や技術を学ぶ意志をもつ人
2. 自分と他者の関係を大切にし、コミュニケーション能力や倫理観を高めるための自己学修に意欲のある人
3. さまざまなボランティア活動や社会貢献活動に積極的・主体的に参加し、実践能力を高めるための行動ができる人
4. 人の幸せを進んで支援することに生き甲斐を感じることのできる人

**【こども学科】**

こども学科では、保育士・幼稚園教諭・小学校教諭の養成を主な目的とし、子どもを大切に育て、子どもの可能性を引き出し、子どもを取り巻く社会状況の変化に対応することができる人材を育成します。

そのために、次のような意欲と熱意をもった人を積極的に受け入れます。

1. 保育者・教育者としての素養を身につけようとし、自ら知識を得ようとする人
2. 発達と学習を促進する支援と指導の力をつけようとする人
3. より良い地域・社会の創出に取り組もうとする人

**【健康スポーツ科学科】**

健康スポーツ科学科では、現代社会における健康意識の向上とスポーツ実践の役割を認識し、身体活動を介した健康やスポーツを体系的に深く理解することにより、調和のある人間形成を図ります。更に「健康」・「スポーツ」・「教職」の3つを柱に、社会に貢献できる有能な職能人・教員・指導者や研究者等の人材を育成します。

そのために、次のような意欲と熱意をもった人を積極的に受け入れます。

1. スポーツや健康科学に強い興味と関心を持ち、自ら学ぼうとする意欲が旺盛な人
2. 健康・スポーツ文化を発信するための能力や感性を身につけたいと考えている人
3. 目的を段階的に捉え、成果に向けて努力・達成しようとする人

**②教育研究上の基本組織に関するこ**

公表方法：<https://www.heisei-u.ac.jp/info/j-koukai/disclosure2019.pdf>

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 看護学部

教育研究上の目的（公表方法：<https://www.heisei-u.ac.jp/info/j-koukai/disclosure2019.pdf>）

（概要）

看護学部看護学科は、“建学の精神”及び学則の定めるところに基づき、生命の尊重を基本理念とし、豊かな人間性と倫理観に裏付けられた感性を持ち、保健、医療及び看護に関する高度な専門的知識と技術を習得し、すべての人々の健康増進及び社会福祉に貢献することができる人材を育成するとともに、これに関連する教育研究を行うことを目的とする。

このため、教育課程は、看護師や保健師免許を取得することを目標に構成され、教育内容と効果的な教育方法を精選して進めている。看護学を“人がよりよく生きる”ために、また“あらゆる健康レベルに対して援助する”ために“人間”，“健康”，“環境”及び“看護”を主軸に据えている。また看護実践者、指導者、教育者または研究者を育成するために“人間と健康論”，“生活と環境論”，“看護活動論”及び“統合（総合）領域”的4本柱を相互に連動できるように構成している。

卒業の認定に関する方針（公表方法：<https://www.heisei-u.ac.jp/faculty/ns/policy/>、大学要覧：大学ホームページまたは電話で資料請求が行える）

（概要）

看護学科では、以下の素養を身につけ、所定の単位数を修得した者に卒業を認定し、学士（看護学）の学位を授与します。

1. 人間の尊厳を大切にし、倫理観に基づき、自覚と責任ある行動をとる能力を身につけている。
2. 看護の対象となる個人、家族、集団、地域社会の人がもっている健康問題・課題に取り組む能力を身につけている。
3. 保健・医療・福祉・教育の関係者、ケアにかかわる多職種と協働できる能力を身につけている。
4. 看護実践に必要な基本的知識・技術をもち、多様な場面において看護を実践することができる能力を身につけている。
5. 主体的に行動し、地域社会に貢献できる基礎的能力を身につけている。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：<https://www.heisei-u.ac.jp/faculty/ns/policy/>、大学要覧：大学ホームページまたは電話で資料請求が行える）

（概要）

看護学科では、高い倫理観に裏づけされた感性を持ち、人間と環境を愛し、看護学の発展、国民の健康増進及び社会福祉に貢献しうる人材を育成することを目的とする科目を配置します。

教育課程の編成

看護学科ディプロマ・ポリシーを踏まえ、以下の教育課程を編成します。

1. 看護を実践するための基本となる能力、看護ケアの展開能力を修得する科目を設置します。
2. 看護実践能力を修得するための科目を配置します。
3. 保健師教育、教職課程は選択制とします。
4. 主体的な学び、継続的に看護を探求することができる能力を修得できる科目を設置します。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：<https://www.heisei-u.ac.jp/faculty/ns/policy/>、大学要覧：大学ホームページまたは電話で資料請求が行える）

(概要)

看護学科では、「全人教育」「人間と自然を尊ぶ教育」「心情と愛の教育」「知行合一の教育」の本学の教育理念を基に、将来の看護実践者・指導者・教育者としての人材を育成します。

そのために、次のような意欲と熱意をもった人を積極的に受け入れます。

1. 他者の尊厳と権利を重んじ、人間を尊重することのできる人
2. 看護専門職として夢と関心をもち、看護の学修に積極的に取り組む姿勢をもっている人
3. 相手のことばに耳を傾け、自分の考えを適切に表現し、あたたかい心でコミュニケーションがとれる人
4. 社会の一員として自覚と倫理観をもち、看護専門職として人の役に立ちたいと思っている人
5. 多様な価値観や異なる文化を理解しようとする姿勢をもっている人

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<https://www.heisei-u.ac.jp/info/j-koukai/disclosure2019.pdf>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）

学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手その他	計
—	2人	—	—	—	—	—	2人
経営学部	—	8人	2人	3人	2人	1人	16人
福祉健康学部	—	16人	15人	7人	1人	0人	39人
看護学部	—	6人	9人	9人	2人	2人	28人

b. 教員数（兼務者）

学長・副学長	学長・副学長以外の教員	計
—	80人	80人

各教員の有する学位及び業績  
(教員データベース等)

公表方法：<http://kws.v.heisei-u.ac.jp/stfdb/prolist.php>

c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）

福山平成大学では、FD推進委員会が中心となって、FD (FACULTY Development) 活動の取り組みに関する情報の共有化を図るため、毎年「福山平成大学 FD ニュースレター」を発行しています。FDは、「授業内容や方法を改善し、向上させるための組織的な取組み」を意味します。本学では、全科目対象の学生による授業アンケート調査（前期及び後期の年2回）の他、FD研修会（外部講師を招いた研修会）、FD講習会（本学教員によるICTの活用方法の講習会）、「私の授業」発表会、FD関連図書コーナーの充実など、さまざまな活動を通じて、大学の教育力を高めて行くよう取り組んでいます。

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
経営学部	50 人	49 人	98%	200 人	151 人	75%	-人	0 人
福祉健康学部	210 人	158 人	75%	840 人	656 人	78%	-人	2 人
看護学部	80 人	98 人	122%	320 人	356 人	111%	-人	0 人
合計	340 人	305 人	89%	1360 人	1163 人	85%	-人	2 人

(備考)

編入学定員は設けていない。募集要項に記載の募集人数は若干名としている。

b. 卒業者数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
経営学部	28 人 (100%)	0 人 (0%)	28 人 (100%)	0 人 (0%)
福祉健康学部	155 人 (100%)	2 人 (1.3%)	148 人 (95.5%)	5 人 (3.2%)
看護学部	81 人 (100%)	2 人 (2.5%)	77 人 (95.1%)	2 人 (2.5%)
合計	264 人 (100%)	4 人 (1.5%)	253 人 (95.8%)	7 人 (2.7%)

(主な進学先・就職先) (任意記載事項)

---<平成30年度実績>---

福山市立幼稚園、福山市立小学校、福山市立中学校、府中市立小学校、アナン学園高等学校、岡山龍谷高等学校、岡山県庁、岡山市役所、井原市役所、浦添市役所、広島県警察、

公立学校共済組合中国中央病院、独立行政法人国立病院機構福山医療センター、東京大学医学部附属病院、順天堂大学医学部附属浦安病院、島根大学医学部附属病院、広島大学病院、福山市民病院、広島市民病院、(社福)一れつ会、

(株)広島銀行、広島市信用組合、カイハラ(株)、(株)サタケ、JFEスチール(株)西日本製鉄所、今治造船(株)、JA福山市、佐川急便(株)、東京ガスエコモ(株)、トモテツグループ、日東製網(株)、(株)ハローズ、不二サッシ(株)、(株)東京ドームスポーツ、(株)あさひ 他。

(備考)

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
経営学部	30 人 (100%)	28 人 ( 93%)	2 人 ( 7%)	1 人 ( 3%)	0 人 ( 0%)
福祉健康学部	177 人 (100%)	152 人 ( 86%)	5 人 ( 3%)	22 人 ( 12%)	0 人 ( 0%)
看護学部	97 人 (100%)	78 人 ( 80%)	6 人 ( 6%)	10 人 ( 10%)	0 人 ( 0%)
合計	304 人 (100%)	258 人 ( 85%)	13 人 ( 4%)	33 人 ( 11%)	0 人 ( 0%)

(備考) 看護学部から経営学部へ1名、看護学部から福祉健康学部へ2名の転学部生がいる。経営学科の「留年者数欄に(1名)」、福祉健康学部の「修業年限期間内卒業者数欄に(1名)」、「留年者数欄に(1名)」を含んでいる。

## ⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

### (概要)

授業科目、授業の方法及び内容・・・大学で作成する授業計画（シラバス）に記載している。具体的には、次の項目から構成している。

「授業のねらい・概要」、 「授業（学修）の到達目標・カリキュラム上の位置づけ」、 「準備学修の具体的な指示」、 「回数ごとの授業内容」、 「回数ごとの準備学修等の具体的な指示」、 「準備学修に要する時間の目安」、 「定期試験」、 「成績評価の方法・基準・課題・フィードバック」、 「オフィス・アワー」、 「授業に関するキーワード」、 「学位授与の方針」、 「実務経験を活かした授業科目(有・無)※有とした場合は「授業の概要」に追記指示」、 「授業の形式」、 「使用教科書」、 「参考書」、 「履修上の注意」。

また、カリキュラムマップを作成しており、1年次生から4年次生まで体系的に年間の学修計画を立てられるようにしている（大学ホームページ「情報公開（教育情報）」、シラバス（冊子）、学生便覧に記載）。

年間の授業の計画・・・学年暦に示している。学年の授業は、35週を基準とし、次の二期に分け、前期は、4月1日から9月15日まで。後期は、9月16日から翌年3月31日までとしている。なお、基本的に前期、後期とも、授業は各15回行われ、その後に試験があり、合格（100点満点の60点以上）すると所定の単位が付与される。

## ⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

### (概要)

#### （学修の成果に係る評価）

各授業科目の成績の評価は、試験の成績及び出席状況等を総合して行うものとする。

成績は、100点満点とし、成績評価は次の基準により授業担当教員が行うものとする。

成績評価	成績評価の内容	意味	単位認定	Grade Point	備考
秀	100点～90点	特に優れた成績	認定	4点	
優	89点～80点	優れた成績	認定	3点	
良	79点～70点	良好な成績	認定	2点	
可	69点～60点	良好には足していないが合格の成績	認定	1点	
不可	59点～0点	合格と認められない成績	不認定	0点	不正行為をした場合も含む。

放棄	受験資格はあったが、定期試験を受験しなかつた場合、あるいは授業の出席回数が不足していて、受験資格がなかった場合。	不認定	0点	
<p>2人以上の教員により担当する授業科目については、当該授業科目を分担する教員の協議により成績の評価を行うものとする。</p> <p>成績評価においては、秀、優、良、及び可を合格とし、当該評価を得た者については学部教授会の議を経て所定の単位を与えるものとする。</p> <p>(卒業又は修了の認定に当たっての基準)</p>				
<p><b>【経営学部】</b></p> <p>卒業要件は、4年以上在学し、一般教育科目及び専門教育科目においてそれぞれ次のように単位を取得し、その合計が124単位以上になるように修得しなければならない。</p> <p><b>[内訳]</b></p> <p>1) 一般教育科目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初年次教育科目1科目2単位必修。</li> <li>・教養基礎科目18単位以上選択必修、但し、体育科目については2教科以上履修することはできません。</li> <li>・情報処理科目2科目2単位必修。</li> <li>・外国語科目必修（英語A・英語B・英会話A・英会話B）4科目4単位、 選択必修（第2外国語（同一言語））2科目2単位、 小計6科目6単位、合計28単位。</li> </ul> <p>2) 専門教育科目</p> <p>1) のほか専門教育科目 必修科目を含めて、96単位以上。</p>				
<p><b>【福祉健康学部】</b></p> <p>卒業要件は、4年以上在学し、一般教育科目及び専門教育科目においてそれぞれ次のように単位を取得し、その合計が124単位以上になることです。</p> <p><b>[内訳]</b></p> <p>1) 一般教育科目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初年次教育科目1科目2単位必修。</li> <li>・教養基礎科目18単位以上選択必修、但し体育科目については2教科以上履修することはできません。</li> <li>・情報処理科目2科目2単位必修。</li> <li>・外国語科目必修（英語A・英語B・英会話A・英会話B）4科目4単位、 選択必修（第2外国語（同一言語））2科目2単位、 小計6科目6単位、合計28単位。</li> </ul> <p>2) 専門教育科目</p> <p>（福祉学科）</p> <p>イ) 1) のほか、選択必修「人間と社会の理解」領域2単位、「心と体の仕組み」領域2単位、「分野部門」領域8単位、計6科目12単位、演習科目3科目10単位、合計9科目22単位必修。</p> <p>ロ) イ) のほか、選択科目から74単位以上。</p> <p>（こども学科）</p> <p>イ) 1) のほか、「こども学基盤科目」10科目20単位、「保育・教育の理論に関する科目」2科目4単位、「保育・教育の内容・方法・技術に関する科目」9科目18単位、合計21科目42単位必修。</p> <p>ロ) イ) のほか、選択科目58単位以上。</p> <p>（健康スポーツ科学科）</p> <p>イ) 1) のほか、必修科目8科目20単位必修。</p>				

ロ) イ) のほか、選択科目から 7 6 単位以上。

### 【看護学部】

卒業要件は、4年以上在学し、一般教育科目及び専門教育科目においてそれぞれ次のように単位を取得し、その合計が 1 3 4 単位以上になるように修得しなければなりません。

[内訳]

#### 1) 一般教育科目

- ・初年次教育科目 1 科目 2 単位必修。
- ・教養基礎科目 1 5 単位以上選択必修。ボランティア活動論 1 科目 1 単位選択必修。  
2 5 科目 5 0 単位の中から 1 4 単位選択。
- ・情報処理科目必修、(情報処理論 1 科目 2 単位)
- ・外国語科目必修 (英語 A ・ 英語 B ・ 英会話 A ・ 英会話 B) 4 科目 4 単位、  
選択必修 (フランス語 A ・ フランス語 B) (中国語 A ・ 中国語 B)  
(ドイツ語 A ・ ドイツ語 B) 1 科目 2 単位

小計 6 科目 6 単位、合計 2 5 単位。

#### 2) 専門教育科目

専門基礎科目 1 8 科目 3 2 単位、専門科目 4 9 科目 7 7 単位、合計 6 7 科目 1 0 9 単位必修。

学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	G P A 制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上 限 (任意記載事項)
経営学部	経営学科	124 単位	○(有)・無	48 単位
福祉健康学部	福祉学科	124 単位	○(有)・無	48 単位
	こども学科	124 単位	○(有)・無	48 単位
	健康スポーツ科 学科	124 単位	○(有)・無	48 単位
看護学部	看護学科	134 単位	○(有)・無	48 単位
G P A の活用状況 (任意記載事項)		<p>公表方法：学生便覧「授業科目履修細則」に掲載済み。 下記のとおり、G P A 値の基準を定めて、学生への修学指導に活用している。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 第 3 項に定める G P A が 2 期連続して別に定める値を下まわる学生には、クラス担任が修学指導を行う。</li><li>2. 第 3 項に定める G P A が 3 期連続して別に定める値を下まわる学生には、保護者同伴のうえ、学部長又は学科長が厳重注意を行う。</li><li>3. 第 3 項に定める G P A が 4 期連続して別に定める値を下まわる学生には、学長は学部長又は学科長と協議のうえ、成業の可能性があると判断される場合を除き、退学を勧告する。</li></ol>		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		<p>公表方法：「保証人懇談会資料」として冊子に掲載している。冊子は、全学生の保証人へ送付及び図書館で閲覧できるようにしている。</p> <p>全学的に行っておりこの「学生生活に関するアンケート」調査は、毎年度実施しており、学生生活全般にわたる現状や学修に対する意識を知ることのできる統計資料となっている。学修状況調査の項目では、授業以外（予習・復習）の必要な時間をシラバスに記載し、その実態の把握や予習・復習の指示に対するシラバスの活用状況等、学習意欲全般を定量的に示し、本学の教育改革に役立てている。また、</p>		

卒業年次生を対象とした「卒業時アンケート」も行っており、本学における学修の成果に対して、学修到達度や満足度を調査し、今後の本学の教育活動の改善に役立てることにしている。

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関するこ

公表方法：大学ホームページ：<https://www.heisei-u.ac.jp/campuslife/cmap/>

## ⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
経営学部	経営学科	800,000 円	330,000 円	0 円	
福祉健康 学部	福祉学科	860,000 円	330,000 円	0 円	
	こども学科	860,000 円	330,000 円	0 円	
	健康スポーツ科学科	860,000 円	330,000 円	0 円	
看護学部	看護学科	1,400,000 円	330,000 円	0 円	

## ⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

### a. 学生の修学に係る支援に関する取組

#### (概要)

本学における修学支援は、主に各学科におけるクラス担任と学務部教務課、学生課が協働して実施している。学生の修学に係る支援には、履修に関する指導・相談の他、学生生活に関すること、奨学金に関すること等、多岐にわたっている。

以下に本学における具体的な修学に係る支援に関する取り組みを示す。

1. 本学においては、クラス担任制（指導教員）を導入し、学生の学修、学生生活、研究活動、進路、心身などの全般についての相談、指導を行っている。
  2. 入学当初には学外で1泊2日の合宿オリエンテーションを実施し、各学科の概要と授業科目の説明等の履修指導を行い、併せて学修に対する姿勢を指導している。
  3. 2年次以降は、年度始めにはオリエンテーションを実施し、次年度以降の履修登録及び履修登録の指導を行っている。学年が進行し、教育・研究の内容が深まるため、クラス担任と各学科に配置している教務委員が学生に対し、授業の不明な点や、学修の進捗状況に関する指導を行っている。
  4. また、履修登録に当たっては、進級・卒業に必要な単位の履修及び資格取得に必要な単位等について十分説明し、学生が授業科目を無理なく計画的に履修できるよう、教務課も履修指導に参画する指導体制としている。
  5. G P A制度を導入し、厳格な単位認定に努めているとともに、成績が不良の学生に対しては、クラス担任のみならず学科長等が個別面談等を行い、学修習慣及び生活習慣等について指導を行い、留年及び退学を予防すると共に、必要に応じて進路の勧告等を行う。
  6. 入学前教育として、入学予定者に対し課題を与えていた。また、英語・英会話では、入学時のオリエンテーションにおいて習熟度を確認し、習熟度別クラス編成を行い、個々の学力にあつた授業が行えるよう支援をしている。
  7. シラバスには、オフィス・アワーを明記し、学生が担当教員に質問等を容易に行えるよう、また、予習復習に関する事項も明記しており、学生が授業計画に従ってどのような予習・復習を行えば良いかを簡潔に示し、授業外学修が効果的に行えるよう、支援している。
  8. 学生用掲示板に加え、学生専用のポータルサイトを用いた情報の提供を行い、自宅や学外において必要な情報を検索・確認できる体制を整備している。
  9. 本学独自の奨学金制度「一般奨学生、特別奨学生A、特別奨学生B」を設けており、学生の学費負担の軽減に努めており、手厚い支援を実施している。
- その他に独立行政法人日本学生支援機構による奨学金制度及び地方公共団体や民間団体の奨学金制度がある。さらには、経済的支援として、授業料の分納や延納の制度、アルバイトの斡旋なども行っている。

## b. 進路選択に係る支援に関する取組

### (概要)

本学は開学以来「社会に貢献できる有為な人材」の教育・育成に力を注ぐとともに、学生の就職対策及び指導に全教職員が一丸となって取り組んでいる。

就職指導体制は、①クラス担任教員と②学科単位で選出された就職委員で構成された就職委員会に加え、③就職に係る情報の提供、相談、助言、委員会運営を行ってきた就職課が、それぞれの立場から三位一体となって支援を行っている。加えて、キャリアカウンセラー1名とハローワークのジョブサポート2名、並びに就職課員2名による個別指導の協力を得て万全な体制で臨んでいる。

就職委員会では、主に3年生を対象として年間25回程度「就職ガイダンス」を開催している。この中では、社会に出て働くという意味や動機付けを始め、職業適性検査、模擬面接、マナー講座、履歴書の書き方講座等を行っている。また、委員会では大学主催の合同企業説明会や就職活動解禁日の出陣式等の開催も行っている。

併せて、「WEB就職支援」構築によるICT化を通じて、学生個々人の「進路希望データ」に基づき、進路が決定されるまでしっかりと細やかな就職支援が行えるようになっている。

## c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

### (概要)

快適な学生生活を送ることができるよう、保健管理センター及び学生相談室を設置している。

#### ○保健管理センター

- ①学生の定期健康診断の実施
- ②健康相談及び保健指導
- ③学生の緊急の傷害・疾病に対する応急措置と医療機関への搬送

#### ○学生相談室

本学学生についての相談を担当する心理カウンセラーが、学生本人からだけでなく、保証人や家族からの様々な相談にあたっている。

相談内容は、大学生活や家庭での心配事や悩みから、心の健康や心理的成長の援助まで、幅広く相談に応じている。

## ⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：<https://www.heisei-u.ac.jp/info/j-koukai/disclosure2019.pdf>